

2025(令和7)年9月17日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



OKAZAKI PARK STAGE 2025

@ロームシアター京都 ローム・スクエア(屋外)／無料・申込不要

日程: 2025年9月27日(土)～10月26日(日)

ワーク・イン・リペア 木製ベンチ公開修繕プロジェクト&ワークショップ

月夜の四角い映画館

ローム・スクエアライブ

ローム・スクエアライブ ～オープンコールステージ～

ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会

詳細・最新情報は[こちら](#)

< 関連企画 >

KYOTO EXPERIMENT 2025 ミーティングポイント

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
令和7年度 文化庁 文化資源活用推進事業
KYOTO EXPERIMENT 2025 提携プログラム

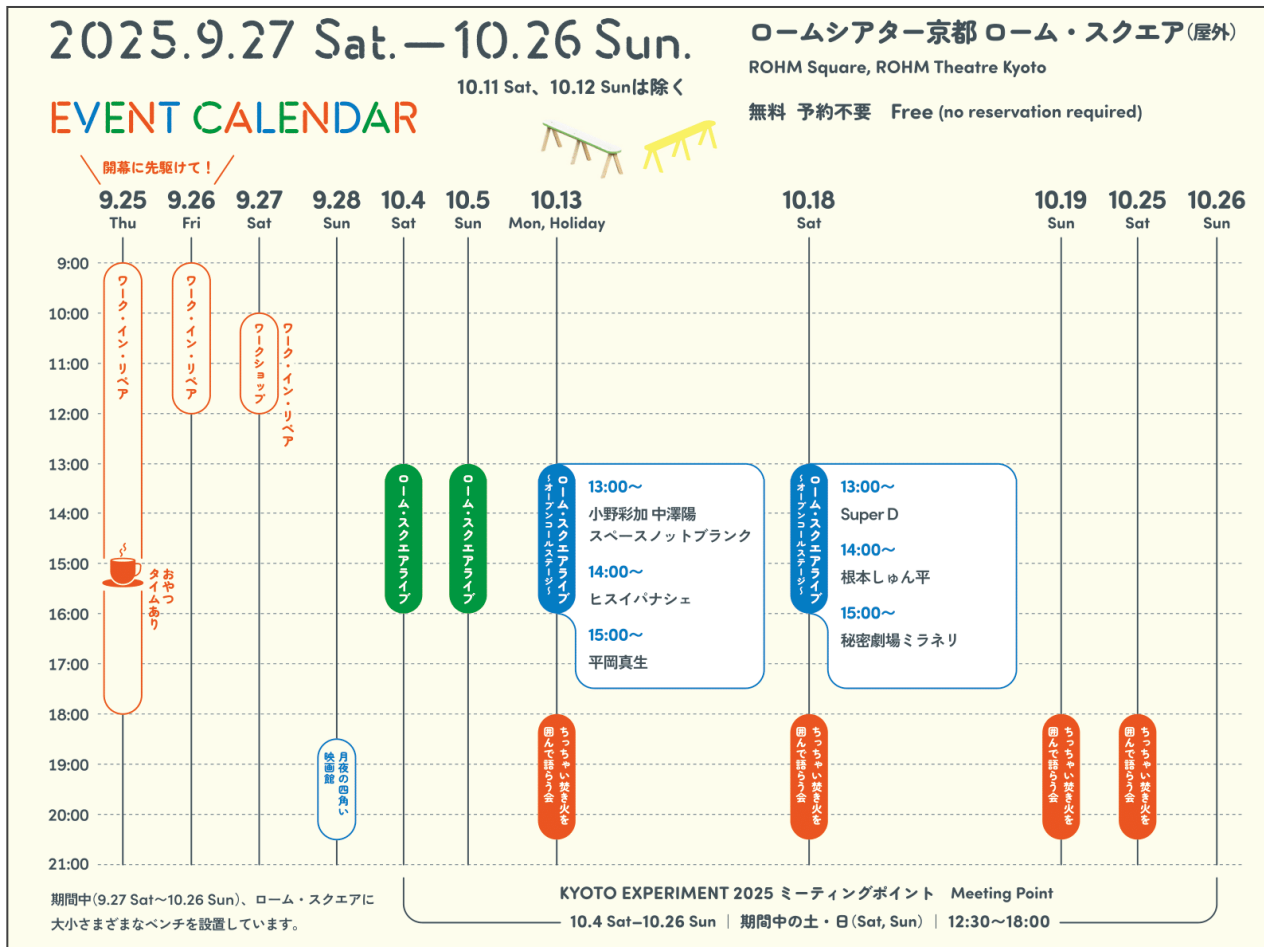
[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 山本、儀三武
電話: 075-771-6051(9:00～17:00) FAX: 075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp

ロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」を会場に、今年も秋の賑わいを創出します。

昨年好評だった公募によるローム・スクエアライブ～オープンコールステージ～や 毎年おなじみの岡崎地域のみなさんを中心としたローム・スクエアライブ、ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会等を行います。

プログラム & スケジュール



屋外広場の空間設計について

やすんだり、あそんだり、じゆうにすごそう ローム・スクエア

期間中、ローム・スクエアには色とりどりのベンチが出現。パフォーマンスを見るための客席になったり、ひとやすみするための腰かけや机、こども達にとっては遊具になる? など、訪れた人やシーンによって過ごし方が広がる仕掛けが施されます。毎週末が楽しみになるイベントと一緒に、何度でも遊びにきてください。

空間設計: REUNION STUDIO(木村慎弥、安川雄基、石田知弘、埴田ななみ)

木村慎弥と安川雄基の共同主宰によって2022年に設立した建築設計事務所。建築の設計や現場での施工からコミュニティデザインまで、ハード/ソフトを問わず、都市と建築に関するさまざまなプロジェクトに取り組んでいる。現在のメンバーは木村慎弥、安川雄基、石田知弘、埴田ななみの4名。

<http://reunionstudio.jp>

OKAZAKI PARK STAGE 2025 企画詳細

ワーク・イン・リペア 木製ベンチ公開修繕プロジェクト

2023 年から活躍しているベンチ。ガタつきや木のササクレが目立ってきました。今回、ベンチの座面とあしを解体し、新しいあしをとりつける修繕のプロセスを公開します。

最終日には色ぬりワークショップも開催します。

公開日時：9 月 25 日(木)9:00～18:00 ※15:00～15:30 ごろ「おやつタイム」
9 月 26 日(金)9:00～12:00

※「おやつタイム」9/25(木)15:00～15:30 ごろ

飲み物・お菓子は持ち寄り制。REUNION STUDIO のメンバーとざっくばらんにおしゃべりしましょう。

ワークショップ 申込受付中

「ベンチのあしにいろをぬろう！ー みんなでつくる、カラフルな広場」

日程：9 月 27 日(土)10:00～12:00

定員：10 組程度(要事前申込・先着順)

料金：無料

オススメ年齢：4 歳～12 歳

持ち物：汗を拭くタオル、水分補給のための飲み物

その他：※汚れてもよい服装でご参加ください。

※未就学児は保護者同伴でご参加ください。

※屋外(屋根のある日陰)でのワークショップになります。

修繕計画・ワークショップ講師：REUNION STUDIO

会場：ローム・スクエア

月夜の四角い映画館

月夜の
四角い
映画館

ローム・スクエアが野外映画館に変身！
《トラブルメーカーな高校生》の映画愛の行方を描いたカナダの
青春コメディを、一夜限りで上映！

日時：9月28日(日)18:30～20:10

※雨天時は、会場を変更して上映します。当日11時にロームシア
ター京都のWEBサイトでお知らせします。

料金：無料・申込不要

上映作品『I Like Movies』

(日本語字幕／2024.12月公開／100分)

監督・脚本 チャンドラー・レヴァック

2003年のカナダを舞台に、人間関係がうまくいかず、行く
先々でトラブルを引き起こす映画好きな高校生を描いた青
春コメディ。トロント国際映画祭を皮切りに熱狂的な評判を
呼び、バンクーバー映画批評家協会賞で最優秀カナダ映
画賞など4部門を受賞した話題作。



主催：unknowncinema.kyotobase

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

ローム・スクエアライブ



Photo: Toshiaki Nakatani

岡崎地域のみなさんを中心とした多彩なステージ！
こどもからシニアまで、みなさんのハレ舞台です。

日程：2025年 10月4日(土) 13:00-16:00

10月5日(日) 13:00-16:00

※雨天時はピロティで開催。荒天時は中止。

料金：無料・申込不要

タイムテーブル

10月4日(土)

13:00～13:15 あおい苑(ミュージックベル)

13:30～14:15 NPO 法人風の音 ミュージックサロンメンバー(コーラス)

子どもコーラス Comodo、岡崎リトルポップスターズ

キャナリアンヴォイセズ、シャイニングスターズ

14:30～14:45 Kyopella(アカペラサークル・コーラス)

15:00～16:00 錦林児童館(竹馬・ダンス)+京都文教中高ダンス部

10月5日(日)

13:00～13:30 Kyo 響 Beat(観客参加型ドラムサークル)

13:45～14:00 翠響(箏・三味線)

14:15～14:30 歌って健康コーラス(コーラス)

14:45～15:00 Duo Elle(ヴァイオリン・ヴィオラのデュオ)

15:15～15:30 バルヴィノク(ウクライナ民族舞踊)

15:45～16:00 岡崎中学校吹奏楽部(吹奏楽)

協力：京都市岡崎いきいき市民活動センター

ローム・スクエアライブ ～オープンコールステージ～

オープンコール(公募)で選出された6団体がローム・スクエアに登場します。暑さも和らぎ、過ごしやすくなった京都の秋。新進気鋭のアーティストによるパフォーマンスにご期待ください。

日程: 10月13日(月・祝) 13:00～15:30

10月18日(土) 13:00～15:30

※雨天時はピロティで開催。荒天中止の場合は、10月19日(日)に振替開催。

料金: 無料・申込不要

タイムテーブル

10月13日(月・祝)	
13:00～13:30	<u>小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク</u> 「フォーム バランス ストリート サイクル」
14:00～14:30	<u>ヒスイパナシェ</u> 「ヒスイパナシェ秋と半導体」
15:00～15:30	<u>平岡真生</u> 「今日もいいお天気ですね」
10月18日(土)	
13:00～13:30	<u>Super D</u> 「TRACE」
14:00～14:20	<u>根本しゅん平</u> 「Underway」
15:00～15:25	<u>秘密劇場ミラネリ</u> 「ロックビバルディ」

上演団体／作品



Photo by Shigeru Tsukidat

小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク

「フォーム バランス ストリート サイクル」

10月13日(月・祝) 13:00～13:30

独自のメカニズム「フィジカル・カタルシス」より4つのフェーズを抜粋し重ねることで、ダンスからダンス作品までの過程を探る。

出演: 大石英史、斉藤綾子

演出: 小野彩加、中澤陽 製作: スペースノットブランク

小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク／Ayaka Ono Akira Nakazawa Spacenotblank

二人組の舞台作家・小野彩加と中澤陽が舞台芸術作品の創作を行なうコレクティブとして2012年に設立。舞台芸術の既成概念と、独自に研究開発する新しいメカニズムを統合して用いることで、現代における舞台芸術の在り方を探究し、多様な価値創造を試み続けている。固有の環境と関係から生じるコミュニケーションを創造の根源として、クリエイションメンバーとの継続的な協働と、異なるアーティストとのコラボレーションのどちらにも積極的に取り組んでいる。

<https://spacenotblank.com/company>



ヒスイパナシェ

「ヒスイパナシェ秋と半導体」

10月13日(月・祝) 14:00～14:30

オリジナル作品の電子音の曲を使った歌、朗読と、ゆるダンスパフォーマンス。廃材やリサイクル素材を使った衣装も見どころ。

出演：みすませを、あーちゃんえーキャット

スタッフ：チックコリヤマ

ヒスイパナシェ／hisuipanache

みすませを は15年ほど前、fleurie.KRONEという女性2人組のパフォーマンスユニットで活躍していた。結婚出産を経て、子育てに邁進しながらも表現のアウトプットを失いつつあり、そんな時、子である、あーちゃんえーキャットも小学校という社会に馴染めず苦しんでいた。親娘でもがきながらも彼女の目が輝いているときは、アートや音と繋がっている時と気づく。。。

あーちゃんえーキャット は外の世界と馴染めない時でも、日々紙やマスキングテープ、筆や絵の具と向き合い、時に歌い踊りながらリビングに現われ、自由と羽ばたきの光を教えてくれる。そうだ！彼女とパフォーマンスしたい！と思い立ち、fleurie.KRONE 当時の楽曲をベースに新しい音も織り交ぜパフォーマンスでそれぞれの殻を破る毎日！



撮影：齋藤 雅宏

平岡真生

「今日もいいお天気ですね」

10月13日(月・祝) 15:00～15:30

「今日もいいお天気ですね」というセリフからはじまる、「所有」や「共有」の曖昧さを自宅と隣家を仕切るブロック塀を通じて探る。

出演：平岡真生

平岡真生／Mao Hiraoka

1999年兵庫県生まれ。現在、名古屋芸術大学大学院美術研究科美術専攻同時代表現研究修士課程に在籍。私たちの日常に影響を与える社会の仕組みやルールを、自身の実体験や記憶にある類似の出来事へ置き換え、そこに生じる視点のズレや違和感を作品を通して提示している。その過程で、他者との関わりの中で生まれる親密性の変容や揺らぎに着目し、個人の内面にある見えない感情の動きを捉えることを目的としている。

Instagram： <https://www.instagram.com/rngoh>



Photo: Toshiaki Nakatani

Super D

「TRACE」

10月18日(土) 13:00~13:30

「動線とステップ」に着目し、現代を生きるダンサーの身体と共に実験的かつ挑戦的に、舞踊譜を再解釈・再構築する。

演出・構成・振付: 後藤禎稀

出演・振付: 天野朝陽、新井海緒、黒田健太、高橋夏那、中村ちはる、浪江二衣奈、福島頌子、渡辺明日香

Super D / スーパーディー

京都を拠点に活動している後藤禎稀主宰のダンスカンパニー。2020年初の作品『受胎』を上演。以来自主公演を中心に作品を発表。

後藤禎稀 / Yoshiki Goto

2014年京都造形芸術大学に入学。2016年Super Dを立ち上げ創作を開始。現在まで全ての作品の振付を務める。またダンサーとして、ルイス・ガレー、倉田翠、はなもとゆか×マツキモエ、Monochrome Circus、小倉笑、山下残の作品に出演。ワークショップのアシスタントや、青少年向けダンス創作ワークショップのナビゲーターを務めるなどの活動を行っている。



根本しゅん平

「Underway」

10月18日(土) 14:00~14:20

動きの振動を音に変え踊る。その生成プロセスに焦点を当てたソロパフォーマンス。

出演・オーディオプログラミング: 根本しゅん平

根本しゅん平 / Shumpei Nemoto

神奈川県出身。日本と英国でダンスを学び、ヨーロッパでダンサーとして活動。その後、講師、振付家、リハーサルディレクターとして活動する。現在は、作品制作の傍ら、創作プロセスにおけるアーティストのためのフィードバックを考える場作りにも取り組んでいる。2018年から2022年までは、急な坂スタジオのサポートアーティストとして活動した。



写真：トマ・キメルラン・ブパール

秘密劇場ミラネリ

「ロックビバルディ」

10月18日(土) 15:00～15:25

ビバルディの「四季」を元にした音楽(編曲：櫻井拓斗)を使用し、昨今の変化が激しい異常気象や社会情勢に翻弄される人々の今を描く。

出演：星野なづな、高橋佑紀、長谷川こころ、水木陽花、

カナール ミランハジメ

音響：櫻井拓斗

秘密劇場ミラネリ／The Secret Theater MILANERIE

2022年より京都市西京区大原野にてカナールミランハジメが立ち上げたパフォーマンスグループ。各企画事にメンバーを募集、編成し2023年大原野の古民家で上演した「ウサギに角」の他2024年、12月に同志社女子大学で「Waste Holic」を上演。2024年3月はロームシアターで大原野ダンスプロジェクト「ロックビバルディ」&「ウサギに角」を上演。舞台作品の他、大原野の自然を活かした野外公演(春ライブ、蛍の会)等を上演している。

カナール ミランハジメ／Milan Hajime KHANAL

2014年よりスイスのルードラベジャールバレエに所属、2016年よりフランスのロゼラハイタワー、カンヌジュヌバレエに所属、ベジャール、マイヨーの作品を踊る。また、2018年よりNoism company niigataに準1メンバーとして参加。

2022年より秘密劇場ミラネリ主催。

ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会



Photo: Toshiaki Nakatani

ちっちゃい焚き火がつくるちっちゃい共有地

全国各地でカフェや迎え火などのプロジェクトをアートとして実践するアーティストの小山田徹氏監修のもと、ローム・スクエアでちいさな焚き火の場をつくります。原始的な「火」を囲みながら、ゆるやかに過ごすことによって、肩書や身分、所属が問われず、誰もが自律的かつゆるやかに集える場を創出します。

この企画は 2021 年度に開催した、アーティストの小山田徹さんと、食農思想史研究者の藤原辰史さんの対談【[「いま」を考えるトークシリーズ Vol.17「縁食」のスミエゆるやかに集うコミュニティの可能性](#)】をきっかけに立ち上げたもので、今年で4回目の実施となります。今年もボランティアスタッフ「火守」のみなさんとともに実施します。

日程：2025 年 10 月 13 日(月・祝)、10 月 18 日(土)、10 月 19 日(日)、10 月 25 日(土)

各日 18:00～20:30 ※雨天・荒天時は 10 月 26 日(日)に順延。

会場：ロームシアター京都 ローム・スクエア



小山田 徹 Toru Koyamada

アーティスト。1961 年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84 年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して 90 年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。京都市芸術大学学長。

小山田徹からのメッセージ

焚き火という営みは、世界最小で最古の共有空間です。人間には、遺伝子レベルで火の前でのふるまいが組み込まれているのではないのでしょうか。コミュニティでの縁が切れてしまいつつある現代、焚き火を通じて、いま一度それを獲得する時間が必要だと思っています。 [コラム「焚き火について」はこちら](#)

小山田徹インタビュー(みんなのミシマガジン掲載)

「縁食と共有地を探す旅」Vol.1 ちっちゃい焚き火で「共有」の感覚をとりもどす 小山田徹さんインタビュー
前編は[こちら](#) 後編は[こちら](#)

協力：岡崎自治連合会、藤原辰史(京都大学人文科学研究所)、南寛、みんなのミシマガジン編集部(株式会社ミシマ社)

関連企画

KYOTO EXPERIMENT 2025 ミーティングポイント

日程：2025 年 10 月 4 日(土)～10 月 26 日(日)

期間中の土・日 各日 12:30-18:00

KYOTO EXPERIMENT は、世界各地の舞台芸術を紹介する国際舞台芸術祭。
フェスティバルと観客の交流拠点 & インフォメーションセンターをオープン！

<https://kyoto-ex.jp/>



主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO(一般社団法人アーツシード京都)]、一般社団法人 KYOTO EXPERIMENT